

別紙3 被害防止計画目標評価報告書

被害防止計画の達成状況（令和6年度）

事業実施主体名 （協議会名）	構成市町村名	近隣市町村等 との連携	対象 地域	実施 年度	対象 鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用 開始	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績										事業実施主体の評価	第三者の意見							
												作成 年度	基準 年度	目標 年度	被害金額(万円)				被害面積(ha)											
															対象鳥獣	現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値			実績値	達成率					
大衡村農作物有害 鳥獣駆除対策協議 会	大衡村	特になし	大衡村	4	カラス カルガモ イノシシ ツキノワグマ	有害捕獲	カラス 31 カルガモ 3 イノシシ 76 ツキノワグマ 0				ワイヤーメッシュ柵の設置でイノシシの行動範囲を狭めることができたこと等により、イノシシに関しては計画を大きく上回る捕獲頭数となり、被害面積の減少にもつながったと言える。	R3	R2	R6	イノシシ	171	154	117	317.647	3.01	2.71	1.14	623.333	個体数の変動はあるが、捕獲の効果が現れていると評価できる。ワイヤーメッシュ柵の設置が増えてきているものの、今後も設置を増やすためには、村民の協力が必要になるので、理解を得られるように取組む。また、実施隊の隊員数も増やして、実績値を伸ばしていきたい。	事業の効果が捕獲頭数や被害面積、被害金額に表れているので、引き続き被害対策に務めてもらいたい。また、近年ではクマによる人的被害が増えているので、実施隊への安全面での教育や情報提供を徹底していただきたい。（管内自然保護員）					
					イノシシ	ワイヤーメッシュ柵整備	5,000m	大衡村農作物有害鳥獣駆除対策協議	R5.3	100%					ツキノワグマ	-	-	-	0	-	-	-	0							
				5	カラス カルガモ イノシシ ツキノワグマ	有害捕獲	カラス 46 カルガモ 5 イノシシ 178 ツキノワグマ 7								カラス	-	-	-	0	-	-	-	0							
					イノシシ	ワイヤーメッシュ柵整備	9,000m	大衡村農作物有害鳥獣駆除対策協議	R5.10	100%					カルガモ	-	-	-	0	-	-	-	0							
				6	カラス カルガモ イノシシ ツキノワグマ	有害捕獲	カラス 35 カルガモ 3 イノシシ 129 ツキノワグマ 3																							
					イノシシ	ワイヤーメッシュ柵整備	5,000m	大衡村農作物有害鳥獣駆除対策協議	R6.11	100%																				

- 注 1:被害金額及び被害面積の目標欄については、対象鳥獣及び目標値を記載し、これに合わせて他の欄も記載する。
- 2:事業効果は獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。
- 3:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。
- 4:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。
- 5:被害防止計画に定められた全ての対象鳥獣について、鳥獣ごとに実績値や達成率等を記載すること。また、合算達成率も記載すること。
- 6:次のいずれかに該当する場合には、達成率が低調であると判定すること。
- (1)被害面積、被害金額等について、合算達成率が共に70%未満である場合
- (2)次に該当する鳥獣種の被害面積、被害金額等について、対象鳥獣ごとの達成率が共に70%未満である場合
- ア 被害金額全体(全ての対象鳥獣における被害金額(実績値)の合計をいう。以下イにおいても同じ。)の2割以上を占めるシカ又はイノシシ
- イ 被害金額全体の5割以上を占めるシカ及びイノシシ以外の対象鳥獣